

平成27年度学校保健・学校安全および学校給食文部科学大臣表彰 被表彰者

1 学校保健

(1) 学校医 (1名)

○中村 凱次 (元 福井市木田小学校学校医)

昭和52年から平成26年までの38年の永きにわたり、福井市木田小学校の学校医として児童への健康教育に尽力し、学校保健の推進・発展に貢献した。児童はもとより保護者に対しても、健康教育全般にわたり適切な指導助言を行うなど、学校保健の推進に多大なる功績を残した。

(2) 学校歯科医 (1名)

○堂 昭夫 (敦賀市立角鹿中学校学校歯科医)

昭和45年から現在まで45年の永きにわたり、敦賀市立黒河小学校、敦賀市立角鹿中学校等の学校歯科医として務めた。児童生徒の口腔・歯を通して健康保持増進のために尽力し、さらに地域の特色などをよく理解し、学校だけでなく、保護者や地域住民に対しても歯・口の健康づくりの指導に当たった。

(3) 学校 (2校)

○越前市花筐小学校

スクールプランの重点項目の1つに「健康安全教育の充実」を掲げ、学校の教育活動全体を通して健康教育を推進している。健康で安全な生活習慣の育成と体力の向上を目指し、業間体育の充実、歯と口の健康の保持増進、健康生活チェックを活用した生活習慣の確立に取り組んでいる。また、家庭・地域の協力が不可欠であることから、健康教育に関しても開かれた学校づくりに努めている。

○福井県立嶺南東特別支援学校

学校歯科医と連携して、障害を持つ児童生徒やその子どもたちと関わる保護者、教職員に対して歯科に関する研修の機会を設けるなど、学校歯科保健活動に積極的に取り組んでいる。また、学校歯科医による歯科に関する個別相談の機会をもち、治療勸奨等、歯科保健に関する保護者の意識高揚の機会としている。

2 学校安全

(1) 学校(1校)

○大野市尚徳中学校

学校の最重点目標に「安全安心の確保」を掲げ、「交通安全指導の充実」に取り組んでいる。岐阜県や石川県からの県外車両や工事用大型車両の増加に伴い、交通事故が懸念されているため、地域や家庭と連携を図って「生徒の登下校についての共同宣言」を採択したり、警察や大野市との協力体制構築に尽力したりするなど、大きな成果を上げている。

(2) 学校安全ボランティア奨励賞(3団体)

○土っ子みまもり隊(勝山市)

地区隊員が毎朝児童と一緒に集団登校を行うとともに、学校からの下校時刻表をもとに下校時の見守りも行い、今年で10年目となる。不審者抑止のため、自家用車に「見守り中」のステッカーを貼ったり、児童の校外学習時に見守り活動を行ったりなど、積極的な活動が継続されている。

○兵庫セーフティパトロール隊

平成16年に設立されて以来、子どもたちの安全安心ため、児童の集団登校を見守る「朝パト隊」、低学年の下校を見守る「昼パト隊」、青色回転灯設置車両により地区内の巡回を行う「夜パト隊」に分かれて、地域が一体となった見守り活動を行っている。

○中藤島地区安全安心パトロール隊

平成16年に設立されて以来、「子どもは地域の宝、地域で見守る」という自主防犯精神のもと、児童の登下校の見守り活動と交通安全指導を行っている。学校行事の予定や犯罪情報の交換を行うなど、学校や交番と連携を図りながら効果的な見守り活動を行っている。

3 学校給食

(1) 栄養教諭(1名)

○藤田 法子(越前町立朝日中学校)

永年にわたり、児童生徒のための安全安心な学校給食の充実発展に大きな功績を残した。自治体の食育推進計画に参画し、子どもだけでなく保護者や地域への食育を推進した。また、食材の地産地消を推進し、子どもたちに地域の食文化や生産者への感謝の気持ちを高める指導に貢献した。さらに、災害時を想定した給食に取り組み、児童生徒に、災害時の食の重要性を伝えた。